

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 25 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 長野市内における障害者福祉施設での歯科健診と口腔ケアの取り組み</p>
<p>2. 申請者名： 公益社団法人 長野市歯科医師会 会長 大久保覚</p>
<p>3. 実施組織： 公益社団法人 長野市歯科医師会 地域保健部（在宅・障害者担当） 社会福祉法人 長野市社会事業協会 長野市栗田園</p>
<p>4. 事業の概要： 長野市内開設の障害者福祉施設・長野市栗田園において、施設を利用する知的障害者に対し歯科健診及び歯科衛生士による口腔ケアを行った。お口の健康を維持するために自身の口腔内の現状を知ってもらい、口腔内診査と口腔衛生指導の他に受診者及び施設スタッフに対し、リーフレット配布と講話を行い、口腔ケアの重要性を啓発した。</p>
<p>5. 事業の内容： 長野栗田園を利用している知的障害者約 18 名に対し、平成 25 年 9 月 25 日に口腔内診査と口腔ケアを行った。そして、同年 10 月から平成 26 年 2 月まで、毎月一回歯科衛生士が口腔ケアを行い、平成 26 年 3 月 11 日、再度口腔内診査を行った。月一回の口腔ケアでは、一人一人の受診者に適した口腔衛生指導と、必要に応じて「パタカラ」や肩上げ体操などを指導し口腔機能の向上も図った。また歯科衛生士により「ていねいな歯磨き」、「ブクブクうがい」という内容で講話を行った。 そこで、1 回目と 2 回目の口腔内診査の結果のうち、歯垢・歯石の付着状態、歯肉の状態について比較検討した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： 長野栗田園の今年度の施設利用者は 32 名で、そのうち 18 名（56%）が口腔ケアを受けた。 障害者の歯科健診や口腔ケアは困難であり、また障害者の個人的あるいは社会的問題により、その口腔内の状態は健常者に比べかなり悪い場合が多く、QOL が低下している状況も多い。このような障害者施設では、全員が参加するというのはなかなか困難であるが、施設にも働きかけて受診率をさらに上げられるように努力していきたい。障害のある人たちが生きがいのある豊かな生活をおくり健康度を向上させるためにも、継続的な歯科健診、口腔衛生指導の充実が不可避であると考え。このような健診事業を他の同様な施設でも行い、最終的には行政の事業として実施されることを期待する。</p>